

社内木鶏感想用紙

2024 年 4 月 24 日

4 月号

名前

タイトル: 運命をひらくもの

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

自分の立つ事ばかり考えている人は滅び身の立つことではなく道の立つ事を考えると良い運命に守られるとある。この言葉を読んで運命をひらく事は、“たらいの水の法則”に似ているなと思いました。

自分の方に水を寄せようとするとかえって反対側に行ってしまう、逆に自分の反対側に水をやると、自分の方に返ってくる。自分の事ばかりを優先せず常に相手に奉仕をする気持ちになると巡り巡って自分のためになり運がひらけてくる。まさに致知で何度も出できた稲盛さんの”利他の精神”であり利他の心を持つ事に繋がってくると思いました。どんな人にも山あり谷ありの人生のレッスンが用意されていて、それをどんな心構えで受け止めどうやってクリアしていくのかはこれを読んだ事でこれからの人生に活かしていけるのではないかと思います。自分優先から相手優先を心掛け、自分の心の器を柔軟に大きく出来るよう物の受け止め方を替えていけたらもっとすてきな人生になるのだと思います。

運命をひらいていくには、出会いを通して良い教えや良い言葉に触れそれをしっかりと受け止める姿勢を持ち1日1日を大切に過ごしながら心に雑草が生えないように日々自己研鑽していくことが運命を良い方向に導く方法なのだと学ばせて頂きました。

②仲間の発表を聞いて気付いた事

社内木鶏感想用紙

2024 年 4 月 23 日

4 月号

名前

タイトル: 運命をひらくもの

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

まず特集を読み、とても心に沁みました。講師である青木先生・五木先生の共通点、91歳であることももちろん凄い事ですがこの道一筋60年歩んできたことにびっくりしました。すべての事に当てはまるわけではありませんが1つの道を信じて突き進み続けることは決して簡単な事ではないということです。そして何より「運命は人の心が創る」その言葉はとても素敵だなと感じました。私も昔は運命などは勝手にくるもの、出会うものと思っていました。しかし学びを通して自分自身の行動でたくさん幸福になれる分、不幸にもなるということ。もちろん幸福ばかりでなく不幸も必ず訪れるが自分自身の心の行動次第で幸福を増やしていきたいと思いました。致知では利他の心・感謝の心など謙虚さを多くの著名人の方や会社の皆さんから教わりました。「人間の心は庭のようなもの」とありますが今回は自分自身を大切にすることの重要さも学びました。私は幸い、良い人・言い教え・良い言葉に出会えています。しかしそれを受け流すのでなく、しっかりと心に受け止め悲運があっても本誌にも書いてあるようにその日その日を必死に生きようと思いました。

②仲間の発表を聞いて気付いたこと

社内木鶏感想用紙

2024 年 4 月 24 日

4 月号

名前

タイトル: 科学技術こそ立国の礎なり

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

- 人事評価制度の整備を進めているお客様があり大変参考になった。
- 時代の変化を知るヒントを得た。

1 人事評価について

仕事における能力はしばしば、目先の数字など定量的なものに偏りがちだが。「徳目」に重点を置いた人事評価をされている富士製薬工業の事例はとても勉強になった。

繁栄する企業と衰退する企業とを分けるのは「徳」の有無であるという。

「徳」とは「自己の最善を他者に尽くしきること」。ならば自己の最善を高めることは、他者に尽くすことの前段階として必要なことかもしれない。企業風土として、他責（他人事）なのか自責（自分の問題として捉える）の差は決定的である。

徳目評価の具体的な項目の抜粋も紹介されている。ちょうど人事評価制度導入を開始する企業様がおられる。社長さんにこの記事を紹介して一緒に検討したい。

2 時代の変化について

田口先生は時代の変化について2点おっしゃっていた。

・これからのリーダー像について「少し飄々としつつも真実・真心がある方が求められている」とおっしゃっている。典型的な親分肌でなくてもいい。人間理解に基づく哲学がこれからのリーダーには大切であるという。社長さん達とともに勉強したい。

・「お金さえあれば幸せだ」というこれまでの価値観は変わりはじめ、人生や仕事の本当の意味を人々は求め始めている。まさに、「経営理念」が中小企業経営でもより大切になっていくことを確信した。理念を行動に移して、それを顧客（市場）に伝えることに成功した企業は間違いなく繁栄するであろうし、自分自身にもそのことを問うていかなければならない。

これからは、数字やお金だけではなく、人間理解や徳（いきおい）についての勉強を深めたいと感じた。

②仲間の発表を聞いて気付いたこと
